

## 課題情報シート

課題名：	香水によるデザイン戦略		
施設名：	職業能力開発総合大学校 東京校		
課程名：	専門課程	訓練科名：	産業デザイン科
課題の区分：	総合制作実習課題	課題の形態：	制作

### 課題の制作・開発目的

#### (1) 課題実習の前提となる科目または知識、技能・技術

グラフィックデザイン実習、プロダクトデザイン実習、CG・CAD 実習、マルチメディアデザイン実習、プレゼンテーション技法

#### (2) 課題に取り組む推奨段階

デザイン基礎学科・基礎実技終了後

#### (3) 課題によって養成する知識、技能・技術

課題を通して、デザインプロセスの総合的な知識・技術を身に付けます。

#### (4) 課題実習の時間と人数

人数：20名

時間：360時間

市場調査からコンセプト設定、モデル制作、販売促進物からプレゼンテーションを通しデザインプロセスを総合的に理解すると共に、実践的な技術を習得することが目的です。

### 課題の成果概要

この課題を通して、デザインプロセスの知識と実践的な技術を習得できたと考えます。学生が就職を希望しているグラフィックデザイン分野、パッケージデザイン分野、DTPデザイン分野、Webデザイン分野等の現場で役立つものと考えます。

課題制作・開発の訓練ポイントおよび所見

養成する能力 (知識、技能・技術)	課題制作・開発のポイント	訓練（指導）ポイント
<p>○ロゴデザインやシンボルマークの制作手法が習得できます。</p> 	<p>◇アイデアスケッチの中からロゴを決定、レイアウトパッドに墨入れし版下を制作しました。その版下をスキャナで取り込み、illustrator®でパスをおこしカラーバリエーションなどへの展開を行います。</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>●ロゴタイプやシンボルマークはいきなりモニターに向かって illustrator®などで描くのではなく、まず手描きの版下などを制作し線の太さや空きのバランスに注意しながら作業を進めます。</li> </ul>
<p>○ボトルデザインの表現方法が習得できます。</p> 	<p>◇ボトルデザインのアイデアが決まったら、まず容量を計算し illustrator®で三面図を制作します。 制作した三面図を元に illustrator®や photoshop®, または三次元ソフトなどで質感を表現していきます。</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>●二次元でのプレゼンテーションになりますので素材の質感に関してはなるべくリアルな表現を求めます。</li> <li>●構造的に安全で、手に収まりやすく使いやすい設計を心掛けます。</li> </ul>
<p>○パッケージデザインの制作手法が習得できます。</p> 	<p>◇パッケージデザインのアイデアが決まったら展開図の検討に入ります。モデルの試作を繰り返し、展開図が決まったら illustrator®によりパスで図面をおこします。さらに箱の表面処理を行いプレゼンテーション用のダミーモデルを制作します。</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>●紙の特性である「折り」、「曲げ」を生かし構造的にしっかりとしたものを考えます。</li> <li>●構造は無駄なくシンプルに設計し、量産性を考えます。</li> <li>●使いやすく機能的で、容器を保護するデザインを考えます。</li> </ul>

養成する能力 (知識、技能・技術)	課題制作・開発のポイント	訓練（指導）ポイント
<p>○ポスターやダイレクトメールなどの販売促進物の表現技術が習得できます。</p> 	<p>◇デザインアイデアやコピーを検討、シンボルマークやイラストレーション、写真素材をillustrator®や photoshop®を使ってレイアウトし、ポスターやダイレクトメールなどの販売促進物の基本的な制作方法を学びます。</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>●商品コンセプトを効果的に消費者に伝え、いかに販売促進をはかるかデザインを考えます。</li> <li>●注目度があり、記憶に残る表現を考えます。</li> <li>●見る側に興味をもたせ共感を得られるような表現を心掛けます。</li> <li>●オリジナルティがあり、見やすく効果的なレイアウトを工夫します。</li> </ul>
<p>○店舗デザインの表現方法が習得できます。</p>  	<p>◇店舗の平面図と立面図、また二点透視図で外装、一点透視図で内装を制作し基本的な透視図法を学びます。</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>●商品コンセプトやターゲットに合った立地条件を提案します。</li> <li>●他店との差別化を図り、目に付きやすく集客を促進する店舗デザインを考えます。</li> <li>●商品を引き立たせる内外装の空間づくりを心掛けます。</li> </ul>

養成する能力 (知識、技能・技術)	課題制作・開発のポイント	訓練（指導）ポイント
<p>○Web 広告動画の制作方法が習得できます。</p> 	<p>◇Flash®による広告バナー制作</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>•Web 上での動くアニメーション広告として、デザインの基となる絵コンテを作成し、リンク先へ導くためのデザイン設計の作成を行いました。</li> <li>また絵コンテを基に各々のデザインパーツを描画ソフトやドロー系ソフトにて、Flash®にインポート可能なデータ作成を行わせました。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>●絵コンテを作成することで、アニメーションの時間や展開等を把握させ、必要とする情報を伝えられるかを考えさせます。</li> <li>●ユーザーが Web 上で見たときに、意図する行動が為されるかを検討させます。</li> <li>●デジタルデータを扱う中で、Flash®データとして利用できるかを理解させます。</li> </ul>
<p>○動画編集による CM 制作が習得できます。</p> 	<p>◇Premiere®や After Effects®による映像制作</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>•SD サイズから HD サイズ、Web など多くのメディアへコンバート出来るように、制作サイズを決定し、映像の流れを示す絵コンテから商品イメージや映像から伝えるデザイン設計を行いました。</li> <li>•映像素材となる動画やデジタルデータを扱うデータを作成し、動画系ソフトにより編集・加工作成しました。特殊効果などを使用している場合は、コンピュータによる演算処理に時間がかかります。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>●動画を作成するに当たり、基本的な出力サイズ、デジタルデータの取り扱いについて理解させます。</li> <li>●絵コンテを計画的に実行できるように、アドバイスを与えることに努めます。</li> </ul>

養成する能力 (知識、技能・技術)	課題制作・開発のポイント	訓練（指導）ポイント
○プレゼンテーションの表現技法が習得できます。	◇企画内容を検討すると共に、使用する図や写真素材を用意し、Powerpoint®を使って、デジタルプレゼンテーションの表現方法を学びます。	<ul style="list-style-type: none"> <li>●提案する商品がクライアントにとっていかに有益であるかを効率的且つ的確に伝える資料作成方法を考えます。</li> <li>●見やすく視覚的にもわかりやすい表現を目指します。</li> <li>●発表する内容、姿勢、話法などのプランをしっかりと立てます。</li> <li>●プレゼンテーションを通し、いかにクライアントとコミュニケーションを取り、相互理解を深めるか考えます。</li> </ul>

<所見>

課題を制作するにあたりデザイン表現が多岐にわたるため、最後まで一つのテーマによる一貫したコンセプトに基づきデザインを制作する難しさを理解する機会になりました。

この場合、多岐にわたるデザイン表現を広く浅くではなく、より広く深く掘り下げることにより個々のデザインに対する理解や実践的な技術が高まり、課題を制作し終えた充実感や達成感を得られると考えられます。

**課題に関する問い合わせ先**

**施設名** : 職業能力開発総合大学校 東京校  
**住所** : 〒187-0035  
 東京都小平市小平西町 2-23-1  
**電話番号** : 042-341-3331（代表）  
**施設 Web アドレス** : <http://www.tokyo-pc.ac.jp>